

研 究 発 表

— 講演・口演・シンポジウム・示説 —

| 演 題 | 発 表 者 | 学 会 名 | 場 所 | 年 月 (西暦) |
|--|--|--|-----|-------------|
| 婦 人 検 診 部 | | | | |
| シンポジウム 甲状腺未分化癌コンソーシアムが明らかにしたこと偶発型未分化癌について | 吉田 明 | 第89回日本内分泌学会 学術総会 | 京 都 | 2016. 4 |
| イブニングセミナー 甲状腺髄様癌における新規分子標的治療薬バンデタニブについて | (座長) 吉田 明 | JSMO's Best of ASCO Conference 2016 | 東 京 | 2016. 7 |
| 根治切除不能な甲状腺癌患者における レンパチニブに関する全例調査：中間 報告 | 吉田 明、高橋俊二 | 第49回日本甲状腺外科学会 | 甲 府 | 2016.10 |
| ブニングセミナー 甲状腺未分化癌—最新の話題— | (座長) 吉田 明 | 第59回日本甲状腺学会 学術集会 | 東 京 | 2016.11 |
| デジタルマンモグラフィ検診車の画質 検討 | 三好恭子、寺西加倫、鎌田衣珠美、落 合彩那美奈、見本喜久子、吉田 明、 福田 譲 | 第26回日本乳癌検診学 会学術総会 | 久留米 | 2016.11 |
| 神奈川県における40歳代のMMG検診 の特徴、評価 | 田村 功、山本裕司、鈴木伸一郎、吉 田 明、福田 譲 | 第26回日本乳癌検診学 会学術総会、 | 久留米 | 2016.11 |
| 循 環 器 病 予 防 医 療 部 | | | | |
| 健康長寿の延伸を目指して（データー の活用と新たな挑戦） | 朽久保修 | 全国予防医学中央会 | 横 浜 | 2016. 8 |
| 社会における減塩対策 | 山末耕太郎、朽久保修 | 第39回日本高血圧学会 | 仙 台 | 2016. 9 |
| 健康腕時計を用いた身体活動と生活習 慣病発症リスクの検討 | 五十嵐梨乃、澤井明香、朽久保修 | 第38回日本臨床栄養学 会総会 | 大 阪 | 2016.10 |
| 生活習慣病領域におけるAmino Index (AI) 技術の栄養学的臨床応用—健長 寿支援への活用例（予備調査）— | 朽久保修 | 臨床アミノ酸研究会第 3回公開シンポジウム | 横 浜 | 2016.12 |
| が ん 予 防 医 療 部 | | | | |
| これからの医療制度～予防策、早期発 見、早期治療～ | 三浦 猛 | 川崎市オストミー協会 医療講演会 | 川 崎 | 2016. 5 |
| 働く人の健康～がんを早く見つけるに は～ | 三浦 猛 | 第一三共ケミカル ファーマー小田原工場 医療講演会 | 小田原 | 2016.10 |
| 「がんから身を守る検診」PSA検診で 早期発見、前立腺がん | 三浦 猛 | 横浜市医師会、泌尿器 科医会・放射線医会・ 産婦人科医会・消化器 内視鏡医会 第3回市民公開講座 | 横 浜 | 2016.11 |
| 「オストメイトにおける健康管理と認 知症予防」 | 三浦 猛 | 川崎市オストミー協会 医療講演会 | 川 崎 | 2016.12 |
| オストメイトの健康管理 | 三浦 猛 | 横浜市オストミー協会 新春の集い | 横 浜 | 2017. 1 |

| 演 題 | 発 表 者 | 学 会 名 | 場 所 | 年 月 (西暦) |
|--|---|----------------------------|-----|-------------|
| 臨 床 検 査 部 | | | | |
| 神奈川県におけるタンデムマス検査事業化後4年間の実施状況 | 小川雄大、木下洋子、山上祐次、栗原博、菊池信行（横浜市立みなと赤十字病院）、安達昌功（神奈川県立こども医療センター）、平原史樹（横浜市立大学付属病院）、窪田 満（国立成育医療センター）、古井民一郎、菊岡正和、古谷正博（神奈川県医師会） | 第43回日本マスキリーニング学会 | 札 幌 | 2016. 8 |
| 学校検尿の流れについて ―検査室で行っていること― | 坂牧真盛 | 神奈川県学校・腎疾患管理研究会定例研究会 | 横 浜 | 2017. 2 |
| 新生児マスキリーニングにおけるTSH、FT4、17-OHPの多項目同時測定の検討 | 山田幸子、菅原緒美、山上祐次、菊池信行（横浜市立みなと赤十字病院）、安達昌功（神奈川県立こども医療センター）、平原史樹（国立病院機構横浜医療センター）、青木香織、福士 勝（札幌IDL） | 第51回予防医学技術研究会議 | 広 島 | 2017. 2 |
| 神奈川県支部におけるぎょう虫検査60年の歩み | 栗原美千代、渡邊由美、小泉眞弓、坂牧真盛、山上祐次、森 雄一 | 第51回予防医学技術研究会議 | 広 島 | 2017. 2 |
| 当施設における業務改善促進チームの取組みについて | 江成典子、馬場久美子、山田佐知子、吉益 順、三好紀子、伊東百合子、倉持 靖、山田栄紀、根本克幸 | 第51回予防医学技術研究会議 | 広 島 | 2017. 2 |
| 放 射 線 技 術 部 | | | | |
| 【専門講座】 予防医療の理解と応用「胃がん検診における有効性評価への挑戦」 | 見本真一 | 第72回日本放射線技術学会 | 横 浜 | 2016. 4 |
| 「謎に満ちている 日頃の当り前」 | 見本真一 | 第89回神奈川消化管撮影技術研究会 | 横 浜 | 2016. 6 |
| 「胃がん検診における胃X線検査の安全性を再考する」 | 見本真一 | 日本消化器がん検診学会第55回総会 | 鹿児島 | 2016. 6 |
| 「読影結果から検証する透視観察手順の改善」 | 村上和也 | 第76回日本消化器がん検診学会 関東甲信越支部地方会 | 新 潟 | 2016. 8 |
| 「明日から使える圧迫用フトンと活用法」 | 植村博次 | 第76回日本消化器がん検診学会 関東甲信越支部地方会 | 新 潟 | 2016. 8 |
| 基準撮影法「いつもはあまり話されない話」 | 川上哲弘 | 第90回神奈川消化管撮影技術研究会 | 横 浜 | 2016. 9 |
| 「専門技師ならここまでやろう！発見のための透視観察手順と着眼点」～あなたは透視で何を見ている～ | 見本真一 | 日本消化器がん検診学会第1回専門技師研修会 | 東 京 | 2016.10 |
| 「胃がん検診のゴールは何か？ プロフェッショナルとしての進化論」 | 見本真一 | 平成28年度東静消化管研究会 | 静 岡 | 2016.11 |
| 「デジタルマンモグラフィ検診車の画質検討」～ソフトコピー診断へ向けて～ | 三好恭子 | 第26回日本乳癌検診学会学術総会 | 久留米 | 2016.11 |
| 「読影しやすい基準撮影法」 | 川上哲弘 | 第13回胃X線を楽しく学ぶ会 | 東 京 | 2016. 2 |
| 「安全な胃部X線撮影のためのリスク管理の取り組み」 | 見本真一 | 予防医学事業中央会平成28年度技術運営会議 | 広 島 | 2017. 2 |
| 神奈川県乳がん検診における発見乳がんの検討―マンモグラフィにてカテゴリー1, 2と判定された乳がん画像― | 寺西加倫 | 第51回予防医学技術研究会議 | 広 島 | 2017. 2 |

| 演 題 | 発 表 者 | 学 会 名 | 場 所 | 年 月 (西暦) |
|---|---|---------------------------|-----|-------------|
| 「肺がんCT検診における技師によるCT異常所見検出」 | 金岩清雄 | 第51回予防医学技術研究会議 | 広 島 | 2017. 2 |
| 「医療安全活動がもたらす医療の質と患者満足度向上への貢献」～経営改善につながるか～ | 見本真一 | 第16回日本医療マネジメント学会神奈川支部学術集会 | 横 浜 | 2017. 3 |
| 「胃がん検診 受診者に信頼される技師とは？」 | 川上哲弘 | 第92回神奈川消化管撮影技術研究会 | 相模原 | 2017. 3 |
| 看 護 部 | | | | |
| 採血後の止血法変更による効果と今後の課題 | 稲葉あつ子、黒須佳代子、佐藤京子、 鐵 智子、中島のり子、市原亜弓、外山幸子 | 第51回予防医学技術研究会 | 広 島 | 2017. 2 |

————— 著書, 論文, 報告書 —————

| 標 題 | 発 表 者 | 誌 名 | 年 月 (西暦) |
|--|--|--|-------------|
| 婦 人 検 診 部 | | | |
| 子宮内膜細胞診による正常内膜の月経周期診断—その重要性とLBC法による形態特性について | 藏本博行、岩見美子、杉本直子、坂野みどり、堀真須子、加藤ちづ代、宮川潤、菅原隆、高見眞理子、木村昭裕、岡島弘幸、飯田萬一 | 予防医学 57号 P157-162 | 2016. 1 |
| 甲状腺乳頭癌全摘術後の放射線ヨウ素内用療法の実状に関する後ろ向きコホート調査研究 | 小野田尚佳、神森 眞、岡本高宏、中島範昭、伊藤研一、宮崎眞和、吉田 明 | 日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌33 110-114, | 2016. 6 |
| Tyrosine-kinase inhibitors to treat radioiodine-refracted, metastatic, or recurrent and progressive differentiated thyroid carcinoma. | Ito Y, Suzuki S, Ito K, Imai T, Okamoto T, Sugino K, Yoshida A, Shimizu K. | EndocrineJ, ;63:597-602. | 2016. 7 |
| The Safety and efficacy of weekly Paclitaxel administration for anaplastic thyroid cancer Patients: A Nationwide Prospective Study. | Onoda N, Sugino K, Higashiyama T, Kammori M, Toda K, Ito K, Yoshida A, Suganuma N, Nakashima N, Suzuki S, Tsukahara K, Noguchi H, Koizumi M, Nemoto T, Hara H, Miyauchi A, Sugitani I. | Thyroid. 26:1293-1299, | 2016. 9 |
| Cytological characteristics of endometrial phasing using the specimens prepared with the liquid-based procedure: Comparison with the conventional procedure. | Kuramoto H, Iwami Y, Sugimoto N, Miyagawa J, Banno M, Iida M | Acta Cytol, 2016;60:429-437 | 2016.10 |
| 女性特有のヘルスケアには子宮がん検診が良い機会です | 藏本博行、木村昭裕、齋藤好子、飯田萬一 | 予防医学 58号 P25-29 | 2016.12 |
| 他領域からのトピックス」甲状腺腫瘍診療ガイドライン2010年版 | 吉田 明 | 日本耳鼻咽喉科学会会報. 119:689-695, | 2016.12 |
| 甲状腺疾患と女性の健康 | 吉田 明 | 予防医学 58号 P57-61 | 2016.12 |
| 循 環 器 病 予 防 医 療 部 | | | |
| Weight loss is associated with plasma free amino acid alterations in subjects with metabolic syndrome. | O Tochikubo, H Nakamura, H Jinzu, K Nagao, H Yoshida, N Kageyama, H Miyano | Nutrition & Diabetes (2016),1-7. | 2016 |
| Development of Wristwatch-type stress-calorie monitor and its wireless communication management system. | Asuka SAWAI, Hitoshi FUJII, Yasunari SATO, Ai TAKUMA, Morino UTSUMI, Shinya SAWAI, Masato OHNO, Osamu TOCHIKUBO | Gazzetta Medica Italiana Archivio per le Scienze Mediche, 175(11): 442-51, 2016. | 2016 |

| 標 題 | 発 表 者 | 誌 名 | 年 月 (西暦) |
|---|---|-------------------------------|-------------|
| 立位姿勢バランス評価システムの提案 —ロコモティブシンドローム早期発見のための試み—: IEICE Technical Report | 内藤孝雄、朽久保修 | 信学技報 115(414), 187-192, 2016. | 2016 |
| が ん 予 防 医 療 部 | | | |
| 人間ドック健診受診者の判定結果から見た女性の特徴 | 三浦 猛、菊池美也子、齋藤好子、鈴木聡 | 予防医学 第58号 P101-108 | 2016.12 |
| 臨 床 検 査 部 | | | |
| 「子宮がん神奈川方式」47年間の成果 | 岩見美子、杉本直子、加藤ちづ代、坂野みどり、堀真須子、菅原 隆、飯田萬一、木村昭裕、岡島弘幸、藏本博行 | 予防医学 第58号 P113-118 | 2016.12 |
| 放 射 線 技 術 部 | | | |
| 当施設の症例から考える、胃X線検査のこれから—放射線技師の立場から— | 高橋直太郎、村上和也、鍋嶋将一、植村博次、見本真一、高木精一、中島 進、石野順子 | 予防医学 第58号 P109-112 | 2016.12 |